共につくる。まるごと元気!多治見

Tajimist

Instagram

2022
No.2355
8
令和4年8/1発行
広報たじみ

ふうりん夢散歩 本町オリベストリート

まちの話題を作り出す

たじみDMO

たじみ
DMO

タイル名称統一100周年ラッピングトラック全国へ

6月28日、タイル名称統一100周年を記念して、100周年ロゴをラッピングした、4t車の運行式が行われました。ラッピングトラックは全国を駆け巡りタイル名称統一100周年をPRします。 問 美濃焼タイル振興協議会 ☎ 43-2141

詳しくはこちら

タイル名称統一100周年記念

企画展

「タイル」までのプロローグ

～手わざの時代の陶磁製建築装飾～

明治・大正時代の「陶板」「敷瓦」「化粧煉瓦」など、手わざを駆使して模索された日本的な「タイル」とは。

1922年4月12日、平和記念東京博覧会の会場で、全国タイル業者大会において、さまざまな呼称が付されていた建築を被覆するやきものが、「タイル」と呼ばれることになりました。会場の一角には、内外を「異形」「特殊」「最新式」のタイルで覆った「タイル館」が設置され、高らかに名称統一をうたいました。

その日から100年。

今ここで、当時「タイル」に挑んだ人々のさまざまな模索の跡を振り返ります。

陶磁器試験所「藤と松の浮彫陶板」 昭和4年
滋賀県工業技術総合センター
信楽窯業技術試験場蔵

期　間 9月4日(日)まで
9：00～17：00
(入館は16：30まで)
※月曜定休

入場料 一般310円(高校生以下無料)

会　場 モザイクタイルミュージアム

問合せ ☎ 43-5101

2022 8 CONTENTS ◆目次◆

02 タイル名称統一100周年

03 たじみDMOスタート

04 特集
「地域に愛される多治見市民病院」

08 生活情報
美術・文化情報／福祉医療費受給者証更新／パブリック・コメント／各種案内／土岐川観察館／地球村／ など

16 新型コロナワクチン4回目接種

17 健康マイレージ

18 市勢発展功績者表彰

19 市職員募集／し尿処理 など

22 定期健診／相談窓口

24 介護保険料納付書送付

25 健康・スポーツ情報／消防団員募集

26 夜間在宅当番医・休日急病診療／消費生活のお話 など

27 建築などを行う際の届出

28 たじみのたからもの／青と緑の物語

29 市民病院だより／時代をつむぐ男と女

30 マイタウンホットニュース

32 多治見まつり
時代武者行列・パレード参加者募集

2022年4月1日

たじみDMOスタート

たじみDMO HP

一般社団法人多治見市観光協会、株式会社華柳、多治見まちづくり株式会社が経営統合し、**たじみDMO**※として生まれ変わりました。

※DMO：Destination Management/Marketing Organizationの略

多治見市は、虎渓山永保寺や多治見修道院など由緒ある文化財があります。

また、モザイクタイルミュージアムや美濃焼ミュージアムを始めとする、地場産業に触れることができる観光施設を多く有しています。由緒ある文化財と陶磁器一大生産地であることを活かした産業観光において、観光誘致をより一層推進し、本町オリベストリートや多治見駅周辺の活性化にも協会一丸となって取り組んで参ります。

たじみDMO 理事長
松島 祥久（よしひさ）さん

まちの魅力づくりに取り組みます。

まち室マネージャー
松井 侑樹さん

美味しい料理と楽しい企画を提供します。

ヒラクビル支配人
田平 沙織さん

観光、まちづくりのデータを分析しまちの賑わいに活かします。

総務・マーケティングマネージャー
伴 旭洋さん

たじみDMO COO
小口 英二さん

ひたむきに、楽しいまちへのチャンレンジを

多治見ではさまざまな事業者や団体や人がまちを盛り上げ、面白くしようとしています。

当社は、そんな皆さんのためにちょっとお役に立てる取り組みや、時には、先陣を切ってチャレンジを生み出す取り組みをやっていこうとしています。

多治見を、楽しいを、自ら伝えます

多治見は、とってもよいまちです。楽しいことがたくさんあります。そしてこれからもっと楽しくなると確信しています。前向きな発信を共に、みんなで良いところをお薦めしあえるような多治見にしましょう！

※あっつう→東濃弁で、熱い/暑いの意

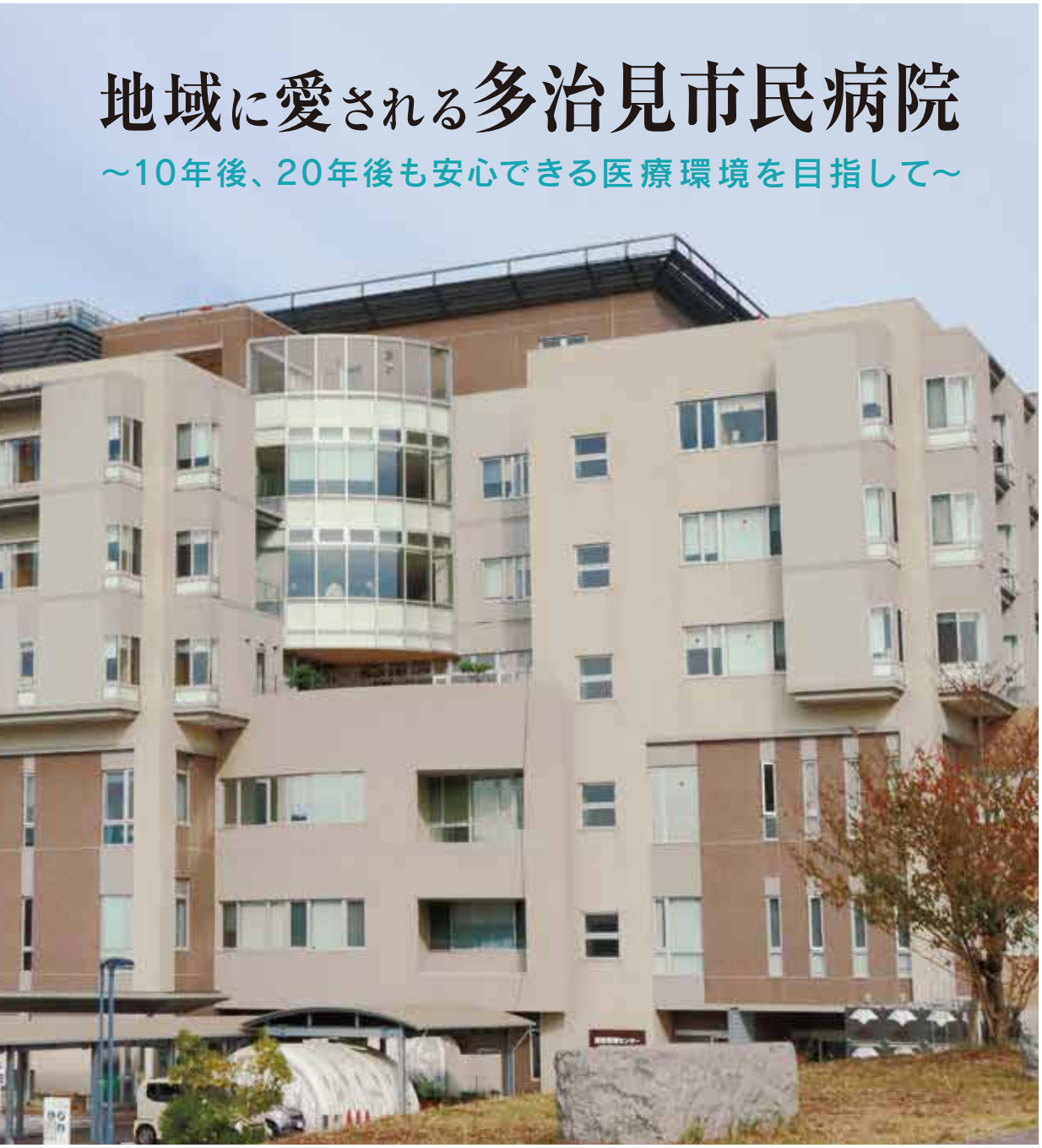
「A2web(あっつうウェブ)」で多治見の観光情報、まちなか情報などを発信します。

観光室マネージャー
日比野 昌代さん

問 一般社団法人多治見市観光協会（愛称：たじみDMO）
住所 本町3-25 ヒラクビル3F ☎ 23-2636

地域に愛される多治見市民病院

～10年後、20年後も安心できる医療環境を目指して～



対談
市民病院長×市長

新病院での診療開始（２０１２年８月１日）から10年の節目を迎えて、市民病院の今と今後について市民病院長と市長にお話を伺いました。

キーワードは、
“持続可能な医療”です

古川市長

市長　市民病院の赤字経営が続いている中、２０１０年４月から社会医療法人厚生会が指定管理者として運営を担うこととなりました。

市民がそのまちに住み続けたいと思う理由は医療環境と教育環境の充実だと考えています。多治見は地理的には名古屋に近くて周りに自然はたくさんあるなどもらった財産はたくさんありますが、人間の努力で作り上げていく医療と教育をしっかりやっていく。この点について市民病院を建設するときに議論して、２０１２年８月に山田實紘理事長のもと、完璧な建物が完成し、現在の新病院で診療が開始されました。

ただ、立派な建物ができても、どんなに頑張っても医者が病院に残ってくれない、市としてこれ以上どうにもできなかったときに、２０１７年から今井病院長が就任し、今に至ります。全国でもなかなか指定管理制度の成功事例はありません。

過去7年間の運営方法の大改革

職員の意識改革、臨床研修医制度への参加による医師の確保

病院長　今までの職員は、「市立病院というのは黒字をだしては駄目」という意識でいました。「医療」と「福祉」を混同していました。患者さんの負担が少なくて、安い医療を提供する福祉に主眼をおいていました。しかし、医療が進歩する中で、市民の皆さんが望むものは、良質の医療です。これを提供しようとすると、おのずと費用は高くなります。そして、「最終的に赤字になったら市が補填すればいい。」それが以前の市立病院の感覚でしたが、そういった考えは民間企業では通用しません。

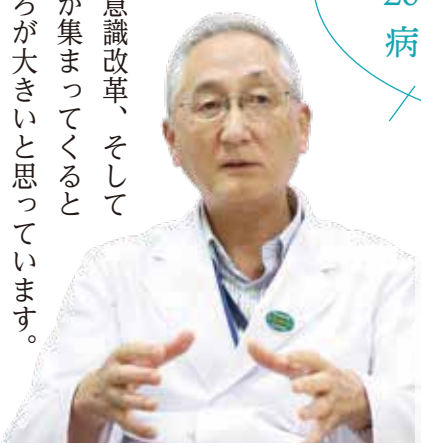
病院も30年経ったら建て替えしなければいけません。医療機器は10年経つと更新しないといけません。私たち個人も同じですが民間企業は黒字経営となることで資金（貯金）を持つことができ、ようやく不測の事態に対応できて、生き残ることができます。それを持続させて次の10年があり、30年後の建て替えができるのです。赤字になることが前提の運営の仕方とは大きく違います。そういった面での職員の意識改革も行いました。

市長　全国の市立病院の黒字化が進まないのは、公設公営、または市役所は利潤を求めてはいけない、ということが根底にあります。今回の大改革で変わったのは、そういったシステムだけでなく今井病院長が医師、看護師、医療職から尊敬される存在であること、医師として先輩としてついていけるか、それが運営の改革につながっていると思っています。

職員の意識改革、そして若い医師が集まってくるというところが大きいと思っています。

病院長　ドクターを確保するために大学に頼みに行きます。派遣する大学側から見ると単に労働力を欲しいだけと思われます。しかし大学としては、若い医師をきちんと指導してくれる病院に、派遣したいのです。われわれは、そういう病院を目指さないといけません。教育をきちんとできる、育てることができる病院を作らないといけないのです。

市長　システムのほかに、病院経営、というのはリーダーによって大きく変わります。今井病院長のそういった思い、行動が口コミで広がり、どんどん若い医師が増えてきています。



「これからも10年後、
20年後を見据えた
病院をつくっていきます」

多治見市民病院院長
今井 裕一氏
2017年、市民病院院長に就任後、
2010年の指定管理から7年間
赤字経営を黒字に転換した。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、市民病院、各種団体と連携

新型コロナ対策に医学的な知見を

市長　多治見市では新型コロナウイルス感染症の拡大状況を受け、2020年2月25日に市長をトップとした多治見市新型コロナウイルス対策本部を設置しました。2022年6月21日までに67回の会議を行ってきました。当初は市役所の職員のみで会議を行っていましたが、どんどん新型コロナ感染症に対する状況が複雑になっていく中で、医学的な知見を取り入れるため、今井病院長にも会議に参加してもらうことにしました。

新型コロナウイルス対策本部会議で説明する今井病院長

病院長　市長の掛け声のもと、市役所は縦割りを外して職員全体でコロナ対策をがんばろうという気持ちになっていました。医療側もそれに応じて一緒にがんばろうと決めてやってきました。医学的な情報も持っているものは提供し、新型コロナウイルスの対策やワクチン接種に関する情報を共有することで、スムーズに進めることができました。多治見市、市民病院、県病院、医師会とのチームワークでワクチン接種についてもうまくいきました。医療機関、市役所が連携し、市民の健康を守っていこうという強い思いで取り組んできました。

連携のもと、スムーズにワクチン接種実施

市長　一番は新聞やテレビの情報だけではない、生の情報を教えて欲しいという思いがありました。役に立つ情報、役に立つアドバイスが欲しかったのです。今井病院長に会議に参加していただき、ワクチンの接種クーポン発送については、国に言われるまま一気に発送すると大パニックになる。年齢を輪切りにして発送しないといけないというアドバイスをいただきました。ワクチンがなかなか手に入れられない時にも、入手についていろいろな提案をいただきありがたかったです。

　人口10万8千人の多治見市のいいところは、市民病院長、県病院長、医師会長がコミュニケーションを取り合い、うまく役割分担していることです。市役所はワクチンをしっかり手に入れ、規則正しくクーポンを発送すること。あとは三団体がきっちり接種を行う、という流れを確立し、スムーズに実施できました。

　また、医療機関の次に医学的な知識をもっている保健師も疲弊させない、ということから、他部署の協力も得ながら市役所全体で取り組むことができました。

病院長　今回の非常事態の対応は市役所や各企業でもトレーニングになったのではないかと思います。打たれ強くなり、いろいろなことに対応できるようになってきたと思います。

持続可能な医療を目指して

病院長　これまで１００項目以上の改革を行ってきましたが、病院の運営としては長期プランと短期プランの優先順位の付け方が非常に大事になります。改革には、適切な順番があります。過去40年のノウハウを生かして取り組んできました。

10年後、20年後になったときにも医療の質を維持しつつ残っていけるよう、先を見据えた病院を作っていかなければいけません。課題はまだまだあります。多治見市にとっても、最良の条件で維持していかなければいけないと思っています。

市長　多治見市がこれからも続いていくなかで、病気が急になくなるわけではありません。10年後20年後の多治見市の総合的な医療をどうするか。持続可能な医療を進めていく必要があります。

市民病院、県病院、開業医との連携、そして尊敬しあえる存在で

病院長　多治見市には市民病院と県病院があり、市民病院、県病院にはそれぞれの役割があります。例えば、多治見市でも高齢者が増えている中、病院にかかる高齢者のライフプランを決めていくという役割は二次医療機関である市民病院の役割になります。県病院がそういった役割まで担ってしまうと、本来県病院で行わなければならない医療ができなくなってしまいます。逆に、市民病院は、高齢者を基本的に診ることと、いくつかの専門医療を行うこととの組み合わせを考えながら、市民の健康と幸せに役立つことです。医師が今まで培ってきた高い技能や経験を生かせる場所でしかも高齢者も診る、というハイブリッドの病院が多治見市には絶対に必要です。そうすることで高度医療を担う県病院の負担も減るのではないかと思います。

いろいろな役割を分担し、協力してこそ、それぞれの病院が存在する意義が出てきます。開業医も含めて、うまく医療連携しながらやっていくことが日本の医療の一番の根幹です。多治見市のような医療を全国のモデルにし、地域医療構想をそういうものにしないと日本の医療は再生しません。

市長　そういう環境のもとにいる多治見市民は幸せだと思います。開業医の先生に診てもらって、精密検査が必要なら市民病院を紹介する。大きなけがなどは県病院で治療し、そのあとのリハビリは市民病院で行う。そういったような連携が重要です。

病院長　救急にホットラインがあり、毎日、県病院と連携をとってやり取りをしています。

市長　県病院の近藤病院長と今井病院長が仲がいいこともいい関係につながっていますね。

病院長　お互い尊敬しあって、いい関係ができています。

市民病院に来る患者さんは皆さん優しいです。
若い医師や看護師を育ててくれようという気持ちが感じられます。
職員も「病める人に優しい医療」を基本理念に医療サービスを提供しています。　**今井病院長**

美術・文化情報

陶芸体験コース参加者募集

電動ロクロ、手びねり、型おこし技法で茶碗や湯飲みなど、お好きな形を２点作れます。

日時 毎日 ※火曜定休。各枠4人まで
①10:00～ ②13:00～ ③15:00～

参加料 ２点 /3,200 円

申込方法 電話またはホームページから

場 申 問 安土桃山陶磁の里ヴォイス工房
大辻、山浦 ☎ 25-2233

明治・西浦焼の世界

日時 12月25日(日)まで

入館料 一般320円

場 問 美濃焼ミュージアム
岩城 ☎ 23-1191

濃陶社 加藤五輔
電燈所た禰
コレクション

第56回多治見市文芸祭作品募集

対象 ①【一般の部】 高校生以上
②【小中学生の部】
小説、エッセイ…小中学生(住所不問)
詩、短歌、俳句、川柳…市内の小中学生

募集部門 小説、エッセイ、詩、短歌、俳句、川柳

申込方法 ①9月1日(木)～10月31日(月)
②9月1日(木)～10月15日(土)に郵送、Eメールまたは窓口で

作品展示 令和5年2月22日(水)～26日(日)
9：00～21：30(最終日17：00まで)

表彰式・講評会 令和5年2月26日(日)
13：00～15：00(予定)

申 問 多治見市図書館 ☎ 22-1047
E-MAIL bungeisai@tajimi-bunka.or.jp

「NEW土で時計を作ったよ！Part7」展

日時 8月13日(土)～21日(日)
10:00～18:00
※水曜定休。最終日は15:00まで

場 問 文化工房ギャラリーヴォイス 田中
☎ 23-9901 FAX 23-9902

第80回多治見市美術展作品募集

対象 ①中学生以上
②市内に在住、在学、在園または市内の教室などに在籍する3歳児～中学3年生

出品料 ①一般1,000円、中高生500円 ②無料

作品種類 ①日本画、洋画、工芸、彫塑、写真、書道、デザイン ②絵画デザイン、書半紙、書条幅

作品搬入 ①11月8日(火) 13:00 ～ 18:00にセラミックパークMINO展示ホールへ
②10月7日(金) 13:00～17:00または8日(土) 9:00～12:00にヤマカまなびパーク5階へ

申込方法 ①10月1日(土)～19日(水) 9:00～17:00に募集要項にある出品票をヤマカまなびパーク5階受付またはバロー文化ホール仮事務所(旧喫茶店スペース)へ
②搬入日にその場で
※募集要項と申込書はヤマカまなびパーク、バロー文化ホール、各市立公民館で配布中

美術展開催
日時： 11月11日 (金)～13日 (日) 9:00～17:30
場所： セラミックパーク MINO
※最終日は16:00まで

申 問 学習館 長谷川、茂木 ☎ 23-7022

文化財み～つけた 「聖徳太子」石碑(月見町2丁目池田真徳稲荷神社境内)

神社境内には大工や建築の守護神とされている「聖徳太子」の名が刻まれた石碑が建っています。石碑の裏には「中央鉄道新線小松組職工安全 明治三十一年七月 静岡県駿河国駿東郡長泉村字本宿 岩崎新太郎建之」と刻まれており、中央線建設工事の安全を祈願して建てられたことが分かります。中央線建設のために静岡からも施工業者が来ていたことが分かる興味深い資料です。

■広報たじみは、市内の公共施設、郵便局、医療機関、銀行、コンビニ、バロー多治見店にあります。■市政情報や緊急時の放送は、FMたじみ(76.3MHz)でも放送しています。広報たじみは植物性インキ、印刷用の紙へリサイクルできるAランクの資材のみを使用しています。※1部あたりの単価は22.58円■「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。一部のQRコードはアクセス解析のためにCookieを使用しています。アクセス解析は匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。この機能はCookieを無効にすることで収集を拒否することができますので、お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の影響により掲載内容を
中止・延期など変更する場合があります。

福祉医療費受給者証更新手続きの案内

問 保険年金課　医療手当グループ　渡辺　☎ 23-5732

福祉医療費受給者証の更新手続きの案内を該当の方へ送付します。　※重度および特例重度心身障害者で更新が必要な方には、8月中旬に案内を送付します。　※精神通院など窓口での手続きが必要な方には９月中旬に案内を送付します。

制度名	対象者	所得制限
重度心身障害者	身体障害者手帳（1 ～ 3 級）を持っている方 療育手帳（A、A1、A2、B1）を持っている方 精神障害者保健福祉手帳（1、2 級）を持っている方	なし
特例重度心身障害者	身体障害者手帳（4 級）を持っている方 療育手帳（B2）を持っている方	あり ※65歳以上は所得制限なし
母子家庭等	母子家庭の母および児童、または両親のいない児童 （児童が 18 歳に達した最初の 3 月 31 日まで）	あり
父子家庭	父子家庭の父および児童 （児童が 18 歳に達した最初の 3 月 31 日まで）	あり
精神通院	自立支援医療（精神通院）受給者証を持っている方 （入院や一般の病気、ケガの治療は非該当）	あり ※受給者本人が市民税非課税

福祉医療費の助成は、保険料や税金を財源としています。

医療費は年々増加しており、限られた財源を有効活用するために、皆さまのご理解とご協力が必要です

- 診療時間内に受診しましょう
- 重複受診はやめましょう
- 接骨院、鍼灸・マッサージ院は正しくかかりましょう
- 「ジェネリック医薬品」を活用しましょう
- かかりつけ医を持ちましょう

例：病院で治療を受け、10,000円の医療費がかかった場合

10,000円

7,000円	3,000円
7割は皆さまが加入している健康保険から病院へ支払われます。	3割は市（福祉医療費助成制度）などから病院へ支払われます。

皆さまが納めた保険料や税金を使わせていただいています。
＝“実質は皆さまにご負担いただいている”という事になります。

あなたのご意見募集中　パブリック・コメント手続き

問 秘書広報課　磯村　☎ 22-1372

市の基本となる計画を定めたり、条例や規則などを制定・改正したりする場合に、その案を公表して広く意見を求めます。ご意見はEメール、FAX、郵送などの方法で提出してください。

※募集テーマや期間は変更することがあります。広報紙掲載分以外にも案件があります。

多治見駅周辺自転車等放置禁止区域の拡大について	**期間** 8月5日（金）～ 9月5日（月） **問合せ** 道路河川課　☎ 22-1276

定例記者会見情報 ～市政情報発信～

問 秘書広報課　☎ 22-1372

6月

1 「美濃焼GO　タイル100」（美濃焼等販売促進支援）の実施支援について（産業観光課）

2 真夏の陶器まつりの開催について（産業観光課）

多治見市ホームページ

人口と世帯数の動き

2022年7月1日現在

総人口 **107,523人**（前月比+35人）
男 52,309人（前月比+15人）　**女** 55,214人（前月比+20人）

世帯数 **47,418世帯**（前月比+73世帯）

募集 不登校の悩みを聞きます

日時 8月17日(水) 10:00～12:00
対象 不登校に悩む保護者
申込方法 8月10日(水)までに電話で
場申問 教育相談室 ☎ 23-5942

募集 多治見国際交流協会 第2回ジュニアクラブ開催

日本に住んでいる外国人との交流を通じて、世界各国の遊びや文化を学びます。
日時 9月11日(日) 13:30～15:00
場所 子ども情報センター 2階研修室
対象 小学3～6年生 **定員** 15人
講師 エナ ローズ 氏(オーストラリア人講師)
参加料 初回の方1,000円 **申込方法** 電話で
申問 文化スポーツ課 佐藤、田中 ☎ 22-1193

募集 在住外国人とのボウリング大会

日時 10月2日(日)受付 9:45～10:00
①ボウリング大会 10:00～12:00
②立食パーティー 12:00～13:00
場所 パークレーンズ(大畑町5-156)
対象 小学生以上(小学生未満は保護者同伴)
定員 60人 ※先着順
参加料 国際交流協会会員無料、非会員500円、外国人と同世帯の家族は無料
申込方法 9月1日(木)～20日(火)に電話で
申問 文化スポーツ課 佐藤、田中 ☎ 22-1193

募集 テラホートとのオンライン交流参加者募集

姉妹都市テラホート市で日本語を学習している現地大学生とオンラインで会話を楽しみます。
日時 9月～11月(全5回) 10:00～10:50
対象 英検3級程度 ※取得資格は問いません。
※Web会議システムZoomを利用します。パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかと、インターネットに接続できる環境が必要です。
定員 6人 ※国際交流協会への入会が必要です。
申込方法 8月15日(月)～電話で
申問 文化スポーツ課 佐藤、田中
☎ 22-1193

募集 さわらびほっとタイム

不登校や登校しぶりについての悩みや不安を話してみませんか。
日時 8月24日(水) 10:00～12:00
場所 笠原中央公民館 会議室2
対象 不登校に悩む保護者 **申込方法** 電話で
申問 さわらび学級(なやむな) ☎ 0120-51-7867

募集 たじみ子ども会議☆ 子どもスタッフ会議

日時 8月28日(日) 10:00～12:00
場所 ヤマカまなびパーク 5階学習室
対象 小学4年生～高校3年生 ※体験参加可
申込方法 申込書(ホームページからダウンロード可、開催当日に記入も可)を郵送、FAXまたは窓口へ
申問 くらし人権課 中上
☎ 22-1128 FAX 25-7233

行政 大学奨学資金(返還不要)を給付

対象 次の全てを満たす方
①大学、短期大学に令和5年度に入学予定で高校卒業後2年以内の方
②健全で品行方正であり、学業成績が優秀である方またはスポーツ、文化活動に卓越した成績を挙げた方
③保護者が住民税所得割非課税であり、市税などを滞納していない方
④保護者が令和4年4月1日時点で1年以上市内に在住し、大学または短期大学の修学期間中引き続き市内に在住予定である方
定員 6人 **給付額** 25,000円／月(返還不要)
給付期間 正規の修学期間(大学生の場合、一般的には4年間。申請は毎年必要)
申込方法 10月12日(水)17:00までに①申請書②推薦書③成績証明書④家庭状況調書⑤世帯全員の住民票の写しを申請者本人が窓口へ
※①②④の様式は窓口で配布(ホームページからダウンロード可)、③出身高校で取得、⑤市役所で取得
※申請時に面接あり
申問 教育総務課 小久保、野村 ☎ 23-5856

※新型コロナウイルス感染症の影響により掲載内容を
中止・延期など変更する場合があります。

募集 認知症カフェ

日時 8月13日(土) 9:15～11:15
場所 総合福祉センター 1階ママズカフェ
定員 10人程度 ※飲み物代実費
申込方法 前日までに電話またはEメールで

申 問 太平地域包括支援センター 伊藤 ☎25-1135
E-MAIL hou-taihei@t-syakyo.or.jp

講座 認知症サポーター養成講座

日時 8月21日(日) 10:00～11:30
場所 坂上児童館 **定員** 15人
申込方法 8月18日(木)までに窓口または電話で

申 問 滝呂地域包括支援センター 関谷
☎ 24-5562

行政 障がい者福祉タクシー利用乗車券の更新手続き

障がい者がタクシーを利用した場合にその運賃の一部を助成します。更新対象者へ8月中旬に申請書類を送付します。

対象 在宅で、次の障害者手帳をお持ちの方
①身体障害者手帳1～3級
②身体障害者手帳4級(下肢、体幹機能障害または視覚障害に該当する方)
③療育手帳A、A1、A2、B1
④精神障害者保健福祉手帳1～2級
※自動車税種別割、軽自動車税種別割の減免措置を受けている方は対象外

申 問 福祉課 加納 ☎ 23-5812

行政 第11回特別弔慰金請求期限のお知らせ

請求期限 令和5年3月31日(金)まで
※期限を過ぎると請求できなくなりますので、ご注意ください。

申 問 福祉課 前田 ☎ 23-5812

募集 「手話入門・基礎講座」受講生募集

手話で簡単な日常会話ができることをめざす、初心者のための講座です。

日時 9月7日～令和5年10月25日の水曜日(全52回)
10:00～11:45 ※祝日、年末年始除く
場所 総合福祉センター 会議室、集会室
対象 次の条件を満たす方
①市内在住または在勤で18歳以上の方
②聴覚障がい者や手話に関わる活動をめざす初心者の方
講師 多治見聴覚障害者協会、手話サークル桔梗の会ほか
定員 20人程度 **参加料** 3,300円(テキスト代)
申込方法 8月1日(月)～26日(金)に申込書(窓口で配布。ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入し、窓口に持参または郵送で

申 問 福祉課 加納、加藤、八木 ☎ 23-5812

募集 介護家族交流会 介護する側の栄養のコツ

日時 8月17日(水) 13:30～15:00
場所 かさはら福祉センター 集会室
対象 介護中の方や介護について知りたい方
講師 中北薬品 管理栄養士
申込方法 8月12日(金)までに電話またはEメールで

申 問 笠原地域包括支援センター 伊藤 ☎45-0007
E-MAIL hou-kasahara@t-syakyo.or.jp

募集 介護家族交流会 なんじゃもんじゃ音楽会

日時 8月19日(金) 10:00～11:30
場所 総合福祉センター 4階大会議室
対象 認知症など様々な病気の方、介護中の方
講師 山下(やました) 一郎(いちろう) 氏(認知症ケア専門士、音楽療法士)
定員 20人程度
申込方法 前日までに電話またはEメールで

申 問 太平地域包括支援センター 国立 ☎25-1135
E-MAIL hou-taihei@t-syakyo.or.jp

行政 たじみクールアースデー2022 ～うながっぱの打ち水大作戦！～

多治見市は平成19年8月16日に当時の国内最高気温40.9度を記録しました。この日を「たじみクールアースデー」と名付け、うながっぱと一緒に打ち水をします。

日時 8月16日(火) 9:30～
※先着100人にうながっぱうちわを配布

場所 本庁舎 正面玄関前

申 問 環境課 澤田 ☎ 22-1175

講座 気温観測講座

身近な温度計とは異なる構造の測定器を用い、実際に気温を測定します。

日時 8月16日(火) 18:30～20:00

場所 土岐川観察館 **定員** 10人

対象 一般、子ども (小学校4年生以下は保護者同伴)

講師 吉田(よしだ) 信夫(のぶお) 氏(多治見気象の会)

申込方法 8月2日(火)～12日(金)に電話で

申 土岐川観察館 ☎ 21-2151
問 環境課 澤田 ☎ 22-1175

講座 たった3回で色選びが得意になる「すぐに役立つカラー講座」

日時 9月13日(火)、27日(火)、10月4日(火)
10:00～12:00

場所 笠原中央公民館

対象 市内在住もしくは在勤の方
※託児有(1人700円/回、5人まで)

講師 色彩士 **定員** 15人

参加料 初回無料、2回目以降1,600円(教材費)

持ち物 筆記用具、はさみ

申込方法 8月15日(月)～9月6日(火)にホームページから

申 問 都市政策課 西尾 ☎ 22-1321

募集 警察官募集

受付期間 8月5日(金)まで
※詳細は岐阜県警察採用情報ホームページから

問 多治見警察署警務課 ☎ 22-0110

募集 第20回「き」業展出展者募集

市内外の元気印企業などが一堂に会するビジネスフェア、「き」業展の出展者を募集します。

参加料 1ブース10,000円、2ブース目20,000円
※1出展者2ブースまで出展可

申込方法 8月1日(月)～9月30日(金)にホームページから申込、または申込書(ホームページからダウンロード可)を窓口へ ※先着順

「き」業展

「き」業展 Business Fair In TAJIMI CITY

日時 令和5年1月27日(金) 10:00～17:00
令和5年1月28日(土) 10:00～16:00

場所 セラミックパークMINO

申 問 産業観光課 山本 ☎ 22-1252

募集 第16回「企業お見合い」受注企業募集

高密度型商談会の受注企業を募集します。

申込方法 8月1日(月)～9月9日(金)にホームページから申込、または申込書(ホームページからダウンロード可)を窓口へ

企業お見合い

日時 10月21日(金) 10:00～17:20

場所 産業文化センター 5階大ホール

申 問 産業観光課 山本 ☎ 22-1252

行政 不動産無料相談会

日時 9月9日(金) 13:00～15:00

場所 本庁舎 3階第3会議室

申込方法 9月8日(木)までに電話で

申 問 公益社団法人岐阜県宅地建物取引業協会東濃支部 ☎ 55-7218

※新型コロナウイルス感染症の影響により掲載内容を
中止・延期など変更する場合があります。

催し 令和４年度　多悠連芸能祭

老人クラブ会員が、練習の成果を発表します。

日時　9月10日(土)　12:00～16:00

場所　笠原中央公民館　アザレアホール

内容　一般芸能の部(舞踊、合唱、楽器演奏など)、カラオケの部

問　多治見市悠光クラブ連合会　加藤
☎ 26-9996　※水、土・日を除く午前中

行政 核融合科学研究所 オープンキャンパス

オンラインで研究所の一般公開を行います。

日時　9月10日(土)　10:00～16:00
※ライブ配信企画参加は10日(土)15:00までに特設サイトにて申込必要

問　核融合科学研究所オープンキャンパス実行委員会
小橋　☎ 58-2009

募集 フリーマーケット出店者募集

日時　9月10日(土)、24日(土)　10:00～14:00
※雨天時は館内で開催

場所　陶都創造館　前庭(20小間)

申込方法　8月15日(月)までに郵便番号、住所、氏名、電話番号、販売品目、希望日を往復はがきで

運営協力金　1小間　500円

申 問　陶都創造館(本町5-9-1)　向井
☎ 080-5290-7248

募集 時代が求めるリーダー育成事業Ⅱ

日時　9月17日(土)　開場 13:00 開演 14:00

場所　産業文化センター　5階大ホール

講師　ROLAND(ろーらんど) 氏(タレント・実業家)

定員　870人　**参加料**　3,000円

申込方法　バロー文化ホール、ヤマカまなびパーク、笠原中央公民館の窓口、青年会議所へ電話またはEメールで

申 問　(一社)多治見青年会議所　☎ 23-5229
E-MAIL info@tajimijc.com

講座 手に取ってもらえる チラシデザイン講座

日時　9月8日(木)、22日(木)　10:00～12:00

場所　ヤマカまなびパーク 5階学習室502

対象　市民活動のチラシ作りを担う方

定員　10人

講師　肥田(ひだ) 和明(かずあき) 氏(㈱SMC-POWER代表取締役社長)

参加料　500円/回
※ぽると多治見登録団体は300円/回

募集 NPOカフェ　写真で皆さんの活動紹介 つながる出会いの交流会

日時　8月21日(日)　13:30～15:30

場所　ヤマカまなびパーク 6階視聴覚室

定員　20人　**持ち物**　団体の活動時の写真など

アドバイザー　野尻(のじり) 智周(ともひろ) 氏((特非)ぎふNPOセンター事務局長)

申込方法　電話、窓口またはホームページから

申 問　市民活動交流支援センター
(ぽると多治見)田中　☎ 22-0320

募集 人権同和教育講演会 聴講者募集

日時　8月18日(木)　14:00～15:30

場所　産業文化センター　5階大ホール

定員　180人

講師　原田(はらだ) 朋記(ともき) 氏(公益財団法人反差別・人権研究所調査・研究員)

申込方法　8月12日(金)までに住所、氏名、電話番号をEメール、FAXまたは電話で

申 問　くらし人権課　今井
☎ 22-1128　FAX 25-7233
E-MAIL kurashi-jinken@city.tajimi.lg.jp

募集 戦前戦後史人権フォーラム 参加者募集

日時　8月13日(土)10:00～17:00　**定員**　400人

場所　恵那文化センター　大ホール

参加料　1,300円(前売1,000円)
※前売については電話またはEメールで

申 問　第４回戦前戦後史人権フォーラム実行委員会
井澤康樹　☎ 090-5108-8374
E-MAIL minogenji-tokiichizoku@docomo.ne.jp

募集 重症心身障がい児者等の相談窓口を設けています

医療的ケアや重症心身障がいをお持ちの方が地域で安心して生活できるよう、看護師資格を持つ相談員が相談をお受けします。

日時 毎週火曜日、木曜日　9:00～16:00

場所 駅北庁舎　2階福祉課

申 問 重症心身障がい在宅支援センターみらい（医療的ケア児支援センター）
☎ 080-8979-7064

募集 Nobody's Perfect ～完璧な親なんていない～

日時 9月2日～10月7日の金曜日　10:00～12:00
※全6回。9月22日は木曜開催　※無料託児有

場所 感謝と挑戦のTYK体育館

対象 おおむね1～3歳の子どもを持つ母親（原則全回参加できる方）

講師 NPファシリテーター　**定員** 12人

申込方法 電話または窓口で

申 NPO法人 Mama's Café　☎ 26-9992
問 子ども支援課　武井、木村　☎ 23-5958

行政 児童扶養手当現況届の受付

児童扶養手当の受給者へ「現況届のお知らせ」を送付します。期間中に必ず受給者本人が手続きをしてください。

日時 8月1日（月）～31日（水）8:30～17:00（土日・祝日除く）　※8月4日（木）、9日（火）、18日（木）、25日（木）は20:00まで。28日（日）は9:00～17:00（休日開庁）

問 保険年金課　岩井　☎ 23-5732

募集 空き家セミナー・無料相談会

空き家に関する困り事を解決するためのセミナー・無料相談会を春日井市と共同で開催します。

日時 9月10日（土）　10:30～15:15　※事前予約制

場所 春日井市役所　12階大会議室

講師 吉田（よしだ） 貴彦（たかひこ） 氏（㈱住宅相談センターCFP®）、宅建士など専門家

定員 セミナー80人、相談会44組　※定員に達した場合は、抽選

申込方法 ホームページまたは電話で

申 春日井市住宅政策課　☎ 0568-85-6572
問 都市政策課　加藤（司）　☎ 22-1321

募集 BPプログラム ～赤ちゃんが来た～

初めて子育てをしているママの仲間づくり、親子のふれあい遊び、子育てのスキルなどを学びます。

日時 9月30日～10月21日の金曜日（全4回）13:00～15:00　**参加料** 1,100円（テキスト代）

対象 2～5カ月（第1子）とその母親　**定員** 10組

講師 BPJ認定　BPファシリテーター

募集 BP2プログラム ～きょうだいが生まれた～

きょうだいが生まれたことで生じる困りごとなど、お話しをしながら「あなたらしい子育て」を見つけましょう。

日時 9月30日～10月28日の金曜日（全5回）9:00～11:00

対象 上の子がおおむね1～6歳で、第2子以上の2～5カ月の赤ちゃんも育てている母親

定員 10組　**講師** BP2認定ファシリテーター

参加料 1,100円（テキスト代）

募集 親子ふれあい教室

少しずつ活発になってきたお子さんと一緒に親子のふれあい遊びや体を使った遊びを学びます。

日時 9月9日（金）、16日（金）（全2回）9:30～11:00

対象 令和3年9月生まれ

定員 10組　※定員に達した場合は、抽選
※10カ月健診受診月の月末までに、参加の可否をメールで連絡

申込方法 参加する親子の氏名、子どもの生年月日、住所、電話番号を電話またはEメールで

場所 駅北親子ひろば

申 NPO 法人まぁーる　☎ 090-3836-6050
問 E-MAIL npo.maaru.tajimi@gmail.com
子ども支援課　武井、木村　☎ 23-5958

催し セラパーク楽々市

日時 8月27日（土）、8月28日（日）　10:00～16:00
※「あきんど市」開催18年目を記念して、28日（日）は田中農園の野菜を無料配布します。詳細はホームページをご確認ください。

場 問 セラミックパーク MINO　☎ 28-3200

※新型コロナウイルス感染症の影響により掲載内容を
中止・延期など変更する場合があります。

土岐川観察館へ行こう

①8月21日(日)
夏の工作教室-1　ぎょぎょっとスコープ作り

ビー玉を使用して昔懐かしい万華鏡を作り、不思議な世界を見てみます。

日時　10：00～12：00
受付9：30～
定員　10人　※要予約(来館または電話にて)
持ち物　材料費 500円

②8月27日(土) 生き物観察-1 外来種調査

外来種調査の仕掛けを引き上げ、生き物を観察します。

日時　10：00～12:00　受付9：30～
定員　15人　※8月2日から受付開始
※要予約(来館または電話にて)
持ち物　帽子、歩きやすい靴、水筒、タオル

③9月1日(木)～9月30日(金)
かんさつ館展示-6 天体 多治見の星空

多治見市内で撮影した星空の写真を展示します。

日時　開館時間中

④9月4日(日)
子どもガサガサ探険隊-6　大原川

土岐川の合流点でガサガサをします。

日時　9：30～12：00　受付9：00～
定員　20人　※8月2日から受付開始
※要予約(来館または電話にて)
持ち物　着替え、濡れてもよい靴、帽子、水筒、タオル

⑤9月9日(金) かんさつ館講座-6 天体

多治見で星はどこまで見えるのかから、夜空の明るさ、明るくなる原因について説明します。

日時　18：30～20：00　受付18：00～
定員　10人　※要予約(電話にて)
講師　井戸(いど) 英夫(ひでお) 氏(地球村星倶楽部)

場所　①②④申込時に連絡／③⑤土岐川観察館
対象　①②④⑤　※一般、子ども小学4年生以下は保護者同伴
休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)
開館時間 10:00～17:00
申 問 土岐川観察館　☎ 21-2151

地球村へ行こう!

9月3日(土)
①赤い満月を見よう~11/8 皆既月食~
②月のミステリー~自然界に及ぼす影響~

天文研究家の先生による特別講演です。星の観望も実施します。

日時　19：00～20：30
(講演 ①19：00～19：40　②19：50～20：30)
※雨天時は講演のみ実施
対象　①家族、親子　②高校生以上　**定員**　各15人
講師　浅田(あさだ) 英夫(ひでお) 氏(天文研究家)
申込方法　8月20日(土)9：00～電話または窓口で

8月20日、9月3日(土)
フリークライミング体験会

スポーツクライミング普及のための体験会です。

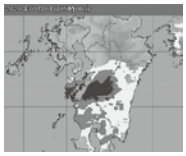
日時　各日 10：00～12：00、13：00～15：00
講師　多治見峰遊会(たじみほうゆうかい)　**持ち物**　運動できる服装

場 申 問
三の倉市民の里地球村
☎ 24-3212

陶都のまもり～多治見警察署だより～

問 多治見警察署警備課　☎ 22-0110(代表)

気象庁が「線状降水帯」予報情報発信を開始　6月から、「線状降水帯」が発生するおそれがある場合、半日から6時間前までに気象情報の中で情報を発信する取り組みが開始されました。線状降水帯は、湿った空気の流入が持続することで次々と積乱雲が発生し、線状の降水域が数時間にわたって同じ場所に停滞することで大雨をもたらすものです。



大雨の危険度がわかる！「キキクル」
気象庁が大雨による危険度を5段階で色分け、地図上に表示しています。気象庁ホームページで確認できます。

警報や注意報に先立って警戒を呼び掛けるので、事前に避難準備をすることができます。

新型コロナワクチン4回目接種を実施しています

問い合わせ　多治見市ワクチン接種コールセンター

平日 8:30 ～ 17:00　☎ 23-5552（直通）　☎ 22-1111（代表）内線 2451、2452

対象　①60歳以上の方
②18歳以上60歳未満で基礎疾患のある方（その他重症化リスクが高いと医師が認める方）

接種間隔　3回目の接種から5カ月以上

60歳以上の方	**3回目接種**から**5カ月**が経過する頃に接種券付き予診票を順次送付しますのでお待ちください。予約方法などは、予診票に同封している案内でお知らせします。
18歳以上60歳未満で **基礎疾患のある方**	**3回目接種**を受けた**18歳以上60歳未満**の方で基礎疾患などがあり、**4回目接種**の希望がある場合は、コールセンターにご連絡ください。
市外で3回目接種してから転入した方	3回目接種後に多治見市へ転入した18歳以上の方で、基礎疾患などがあり、4回目接種の希望がある場合は、4回目接種用接種券付き予診票の交付を申請してください。詳しくはホームページをご覧ください。

基礎疾患のある方とは

❶下記の病気や状態の方で、通院／入院している方

- 慢性の呼吸器の病気
- 慢性の心臓病（高血圧を含む）
- 慢性の腎臓病
- 慢性の肝臓病（肝硬変など）
- インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病または他の病気を併発している糖尿病
- 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く）
- 免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む）
- ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
- 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
- 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害など）
- 染色体異常
- 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）
- 睡眠時無呼吸症候群
- 重い精神疾患（精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、または自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合）や知的障害（療育手帳を所持している場合）

❷基準（BMI 30以上）を満たす肥満の方

3回目接種を希望する方は早めの接種をお願いします

～2回目接種から5カ月以上経過している方が対象です～

接種をした順に3回目接種券付き予診票を発送しています。
接種券付き予診票が届かない場合は、コールセンターへ問い合わせください。

ワクチン接種後も感染予防をお願いします

ワクチン接種後も、マスク着用、手洗い・消毒など
基本的な感染対策の徹底を継続してください。